

## 別記様式第2号

## 第2回北区消防団運営委員会議事録

開催日時	令和2年2月4日(火) 11時00分から11時50分まで
開催場所	北区役所第一庁舎4階第二委員会室
諮問事項	「特別区消防団の組織力を強化するための方策はいかにあるべきか」
出席者	委員長 花川 與惣太(北区長) 委員 栗橋 弘明((一財)王子防火防災協会代表理事)、齋藤 邦彦(赤羽防火防災協会会長)、加藤 和宣(滝野川防火防災協会会長)、大松 あきら(都議会議員)、くまき 貞一(区議会議員)、坂場 まさたけ(区議会議員)、さがら としこ(区議会議員)、すどう あきお(区議会議員)、せいの 恵子(区議会議員)、福田 光一(区議会議員)、榎本 清実(王子消防団長)、手嶋 一男(赤羽消防団長)、石井 正(滝野川消防団長)、遠藤 幹雄(王子消防署長)、唐澤 学(赤羽消防署長)、平松 一隆(滝野川消防署長)
欠席者	0名
傍聴者	2名
配布資料	資料1 北区消防団運営委員会答申概要(案) 資料2 北区消防団運営委員会答申書(案) 参考資料 第1回北区消防団運営委員会議事録
審議次第	1 開会 2 委員長挨拶 3 審議 北区消防団運営委員会答申書(案)について 4 閉会
審議内容	
事務局	開会
委員長	挨拶
事務局	資料の確認
委員長	(答申案について、事務局に説明を求めた。)
事務局	(答申案について資料1に基づき説明)
委員長	只今、ご説明をいただきましたが、質問並びにご意見がございましたらお受けいたします。
委員	少子高齢化が進む中にありまして、いずれの組織も、組織の機能の維持というものが、大きな課題になっているところでございます。

	<p>その中にありまして、その解決の方法としては、それに参画できるあり方、対応の仕方を多様化させて、また垣根を低くして、より多くの多様な方が参加できるようにしていくということが、一番の基本であるというふうに考えております。</p> <p>そういう意味におきまして、災害時には出動しないけれども、活動ができるという機能別団員でありますとか、大規模災害時に限定して活動される団員でありますとか、このように多様化していくということは、非常に効果があると評価させていただくものでございます。</p> <p>また、特に大切なことは、若いときに、こうした尊い活動に実際に触れて、経験をしていただくということが、後々の人材育成にもつながりますので、学生の方に焦点を当てて、入団を促進していくということも、非常に重要なことであると思います。</p> <p>さらに、一番経験が豊かで、また知恵もお持ちなのが、やはり、消防団OBの方や消防署員のOBの方でありますので、こうした方の力をより引き出させていただく活用をするという意味におきまして、OBの方にも参画を呼びかけていくということも、非常に重要なことだというふうに、評価をさせていただくものでございます。</p> <p>そして、この現役の方が退団されるときにおきましても、そのまま、団員ではなくなるということではなくて、機能別団員に移行していただくという、非常にきめ細かな対応も、非常に効果があるものと、評価をさせていただくものでございます。</p> <p>また、活動環境の整備、活性化など、いろいろな資器材等の拡充等につきましても、これも重要なことありますし、魅力向上のためにも欠かせないものでありますので、この点につきましても評価をさせていただくものでございます。</p>
委員長	ありがとうございます。
委員	<p>若い方、学生の方に入ってきていただいているということで、これは非常にありがたいことですが、王子消防団は、帝京大学があるからいいとして、赤羽も入ってきていらっしゃるという話を聞いていますが、赤羽ではどこの大学から来ていらっしゃるのでしょうか。</p> <p>また、滝野川の状況はどうなのかがわかる場合は、お答え願いたいと思います。</p>
事務局	滝野川には大学自体がありませんので、学生団員はおりません。

<p>委員</p>	<p>高齢化が進んできて、消防団の負担が非常に重くなっているんですよ。一番負担が重いと考えているのは操法大会なんですよ。これが6月の頭にあるとして、1か月から2か月、足らなければ、それ以上の期間、週3回も練習しています。もちろん、分団によって違うとは思いますが、それだけの練習をして操法大会に臨むわけです。</p> <p>これは、前回も言ったと思いますが、選手のなり手もなかなか少ないし、選手じゃなくても、参加して、準備から片付け、あるいは、やっている間の交通整理とか、こういった人数も非常に少なく、厳しくなってきました。</p> <p>さらに、場所の確保も難しくなっています。ある場所でやっていたら、近隣の住民から、「うるさい」というクレームが来て、できなくなってしまったということもあります。</p> <p>この操法大会について、全国の消防団のことを調べてみたんですが、自治体によってそれぞれ違いはありますが、この負担が一番重いというのが、消防団員の声の大きなものになるかと思っております。</p> <p>消防団の負担を減らすということになれば、この操法大会に手を加えなければいけないかなという気がしています。廃止も含めて、あるいは、2年に1回にするとか、あるいは、前回も言いましたが、1つの分団だと大変だから、2つの分団が合同でチームを組むとか、そういったやり方でやっていかないと、若い人たちが多い分団はまだいいんですが、そうでないところでは非常に負担が重いです。</p> <p>ここ数年、操法大会の練習をしているときとか、操法大会が始まるときに、一番言われるのが、「けがをしないでほしい。けがには十分気をつけてほしい」ということです。</p> <p>高齢化が進んで、けがが非常に大きな問題になっておりますので、そういう意味でも、この操法大会のあり方を見直すということ、消防団員の負担軽減の一つに入れてほしいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>私からは、機能別団員のところで、応急手当訓練指導を行う対象として、女性などの活躍が見込まれているというお話がありました。また、世帯でも参加しやすいようにというところで考えたんですが、私は、実際、看護師、保健師として働いてきましたが、子育て中はお休みをしている期間がありました。</p> <p>全体的に、看護師の資格を持っている方なども多くいらっしゃると思います。また、そういう世代の方々に、子育てをしている方々が一番ネックになってくるのが、子供の保育環境をどうするかというところにあると思います。</p> <p>魅力向上策の中に、「保育園の入園優先」というふうに書いてありま</p>

	<p>すが、実際には、そこを消防団員の方にとというのは難しいと考えると、私は、保育環境を整備したりとか、あとは、2時間ぐらいとか、時間がそんなに長くないということであれば、一時的な託児に対しての補助を、お金で出すとか、そういうやり方も考えてもいいのかなと思いました。</p> <p>そういう形で、子育て世代の人たちに入ってきていただくということができれば、ローテーションで回したりということもできると思うので、一人一人の負担も少なくなるし、入ってきやすいかなと考えていますので、ぜひ検討していただければと思います。</p>
<p>委 員</p>	<p>今回、こうした非常に大事な場に参加させていただいて、本当に良かったと思っています。</p> <p>先ほどからお話が出ているように、世代継承というのは、どこも大変なことだと思います。</p> <p>区内の中学校は全て、中学生の皆さんは“防災学校”といったことで、いろいろ訓練をしてくださっていますが、この間の土曜日に、桐ヶ丘中学校において開催されました。そして、ここでは帝京大学の学生さんたちが、講師としていろいろ細かく、救命救急のあり方とかを含めて、指導してくださっていました。</p> <p>このようにして、非常にすばらしい経験を中学生の皆さんにも積んでいただいているので、こういうことが、地域の災害が発災したときの対応として、非常に大きな力を発揮していただけるようになるのではないかと思います。</p> <p>ですので、北区としても、こうした施策をこれからも続けていっていただきたいと思います。</p> <p>今回、この“防災学校”の中で、実は、校長先生のいろいろなご配慮もありましたし、地元でこれに取り組んでいる、災害時の避難所開設訓練というものもありました。そして、防災のための備蓄倉庫についても、どこにあって、どんなものが入っているかということも、今回、見せていただくことができました。</p> <p>そうすると、いざというときに、誰もが、「この場所にはこういうものがあるんだ」ということが認識できました。</p> <p>このときには、中学生の皆さんのほか、地域の町会、自治会の皆さんも加わってくださっていました。しかも、学校単位として考えていただいたので、連自治会の範囲をさらに越えて、ほかの地域の町会、自治会の皆さんにも声をかけていただけましたので、私は大変貴重な体験になったと思っています。</p> <p>こうしたことが、次の若い世代の皆さんに、防災意識、消防団の役割</p>

といったことも知っていただく、大変大事な機会になるかと思いました。

それから、もう1点ですが、先ほど、魅力向上・活性化策ということで出されていた中に、シャワー室とかトイレの整備ということがありましたが、これらはずっと課題になっていたことですが、それが明らかになってきましたので、もっと積極的に進めていただくことが、非常に大事なことだと思っています。

赤羽消防団としても、北区全体の消防団や、全国的な規模でも、女性の皆さんに団員になっていただいたり、女性の団員としての活躍の場ということで、いろいろな場面でこれまでも活躍していただいていると思っています。

そういうこともあって、北区の中の消防団員は、女性の数が増えてきています。これは、非常に力強いことだと思っていますので、ぜひ環境整備について、この機会にさせていただきたいと思っています。

また、資器材などもずいぶん扱いやすいものに改善されていっているということも、大変大事なことかなと思っています。

そういう点で、さらに一層、全国的にも、世界的にも、あらゆる施策の場において、男女平等からジェンダー平等へということが、大事になってきておまして、持続可能な社会を構築していくという点では、SDGs というようなことも言われていて、あらゆる場面でジェンダー平等ということが求められていますので、政策決定の場にも、女性の力を引き出していただけるようなことを、これからもぜひお願いしたいと思っています。

今回出していただいて、非常に大事だなと思ったのが、この答申書をつくっていく過程で、直接の団員の皆さんが日ごろのような悩みとか、意見、要望を持たれているのかということが、かなり細かく、アンケートによって意向調査をされましたが、そうした調査の中身なども、今回、非常に活かされてきているのではないかと思います。

私は、この点も非常に大切なことだと思っています。

先ほどありましたが、この「まとめ」のところですが、本文の6ページの、「第5章 まとめ」のところにも、そうした皆さんのご努力の様子も、ぜひ加えていただければありがたいなと思いました。

例えば、女性の活躍のこととか、団員の皆さんからのアンケートによって、そうした意向を参考にしながら、この答申づくりに活かされてきたことや、昨年の台風19号のときの体験というものが、日ごろの消防団の皆さんのさまざまな災害時の活躍だけではなくて、一般の区民の皆さんも、今回の台風19号のことで、いろいろなことを学ばれました

	<p>し、いろいろな教訓が出てきました。</p> <p>そういう中身についても、この答申の中にいろいろ取り込んでいただいているかと思imasuので、まとめのところにも、こうした文言も加えていただけると、なお一層、全体として話し合ってきたことが活かされていくのではないかと思imasuので、この点もよろしくお願ひしたいと思imasuしています。</p> <p>最後にしますが、「おやじの会」とかの体験も出されましたが、その前に出ている、「町会や父兄会」と書いてありますが、「父兄会」という言葉は、今は「保護者会」という表現になっています。ここも、男女平等、ジェンダー平等という点からも、そうした記述にさせていただいたほうが、より一層いいのではないかと思imasuしました。</p> <p>こうした点についてもぜひご検討いただきたいと思imasuしますが、いかがでしょうか。</p>
委 員	<p>この町会や父兄会の「おやじの会」というのがありますが、こういう会を決めて、そこから加入してもらおうということですが、主宰はどうなっているんですか。いろいろ決め事があると思imasuしますが、ただ、「おやじの会」というだけで、「入ってくれ」というだけですか。</p>
事 務 局	<p>特に決めてはいないんですが、町会や父兄会の役員として集まっている会は、意識が高いという話を聞きました。</p> <p>また、野球チームのお父さんたちの集りなどに参加している人たちは、ボランティア的な精神が強いということですので、そういう方にも声をかけると、消防団員について理解されていない方もいらっしゃると思imasuので、そういうボランティア精神の高い方々に消防団活動の話をして、入団促進を図るという考えです。</p>
委 員	<p>そういう勧誘は消防団の人にやってもらうわけですか。</p>
事 務 局	<p>消防団員もですが、町会の方とか、顔の見えるご近所の方などにお願ひできればと思imasuしております。</p> <p>「おやじの会」に入っている消防団員の方ですと、顔の見える関係ですので、入団促進について話もしやすいですし、話も聞いてもらいやすいということで、こういう会でもということで、ここに書かせていただきました。</p>
委 員	<p>せっかく「おやじの会」というのがあるんだから、これは育てる必要があるでしょう。それなら、入会のための勧誘方法をきちんと決めるとか。</p> <p>それから、報酬というものはあるんですか。</p>

事務局	消防団に入団されますと、先ほどお話ししたとおり、報酬とか費用弁償とかがありますので。
委員	消防団ではなくて、「おやじの会」ですよ。
事務局	この会はボランティアなので、報酬とか費用弁償とかはないと考えています。
委員	私たちは、町会関係で、いろいろと防災向上に協力していますが、魅力向上・活性化策の第1に、「年報酬、費用弁償の引き上げ」ということが書いてありますが、「おやじの会はボランティアです」と、はっきり決められてしまうと、違和感が出てきてしまうんですが、その辺はどうなのかなと思うんですが。
委員	<p>実は、これは私がお話しした内容でもあるんですが、前の運営委員会でもお話ししたかもしれませんが、王子第一小学校で「おやじの会」を立ち上げたメンバーでもあります。</p> <p>あと、7年ほどPTAに携わっている中で、少年サッカーチームのコーチをずっとやっていたということもあって、地域のため、子供たちのために何かしたいと思っている人たちの集りというのが、こういう人たちではないかなということで、一つの案として出したものです。</p> <p>確かに、PTAの役員というのは、みんなボランティアでやっているのだから、そこに対して、何か強要するということではなくて、彼らが持っている地域への貢献意識とか、子供たちに対する思いとか、それらをもっと引き出して、自分たちで地域を守っていくという気持ちの中で、やってもらえないだろうかということを考えています。</p> <p>一方、消防団に入団するということに対してのいろいろな不安があると思うんです。例えば、先ほど、保育環境の整備というお話がありました。確かに、それも非常に大事だと思いました。</p> <p>女性が直接参加するというやり方もあれば、お母さん方が、「それなら、消防団にだんなを出してもいいかな」と思っていたり、もしくは、「子供たちが大きくなったら、消防団に参加させたいな」と思えるような情報公開をすることか。</p> <p>そういうことについて知る機会があったらいいんじゃないかと思いましたが、果たしてそれがどこにあるのかということ、いろいろ考えたときに、私の中でも、まだ解答は出ていません。</p> <p>ただ、一つの案としては、例えば、消防署なり学校なりで、PTAでの催しができる機会があれば、なおさらいいでしょうし、学校などで防災訓練をやっているところに、「おやじの会」で参加したり、「ボランティアで行きましょう」とかいう話も出ますので、そういう機会を使っ</p>

	<p>て、うまく情報公開して、「消防署との連携はこうですよ」とか、いろいろな情報公開をする中で、不安を取り除きながら、「それなら、自分も参加しようかな」と思えるようになるかもしれません。</p> <p>もしくは、今回の対策にあるようなことも踏まえた上で、「少しでも力になれるのであれば」という気持ちを引き出せないかという思いがありましたので、これを入れていただきました。</p>
<p>委 員</p>	<p>ここに活字にして書くと、「どういうふうになっているんだ」ということになるわけです。今の説明でわかりましたが、それが、王子の町会全体に、学校全体に、そういうことが浸透できていけば、これはいいことですが。</p> <p>町会は、消防団とのコミュニケーションを良く図っていて、それをまた、我々も消防団の活動に対して評価しています。お互いにWin-Winでやっていかないと、どっちもどっちになってしまうので。</p> <p>これからやってもらいたいと思うのは、町会の青年部に対して、定期的に消防団のどなたでもいいから、来てもらって、会話するなり指導してもらおうということです。</p> <p>そうしないと、理解できないですし、まだまだ消防団員の活動についても、我々はよくわかっていないし、そういうことの中で、いざというときにすぐ、消防団の方々が来て、やってくれるといいと思っています。</p> <p>そういうことがないと、そこに隙間ができてしまうので、それはいけないということで、地域社会としては、消防団員とのコミュニケーションをもっととっていかうというのが、町会としてやっていかなければいけないと思っています。</p> <p>それから、PTAにしても、いろいろなグループがありますので、そういうところに消防団員が来て、何らかのセッションを与えてくれるということが、組織としてできていけば、一番いいんですが、消防団員の方も忙しいですし、なかなか接点がなくなっているんです。</p> <p>本当はそれを定期的にやってもらおうと、PTAの方でも若い子でも、消防団員との接触が増えていくと思いますので、そういうことを地域全体で考えていく必要があると思っています。</p> <p>それから、先ほど、防災の倉庫の話がありましたが、からっぽですよ。そんなに入っていないよ。あそこの学校に避難しても、全然だめですよ。</p>
<p>委 員</p>	<p>そんなことはないですよ。からっぽじゃないです。ちゃんと入っていますよ。</p>



<p>委員</p>	<p>うちのほうには入っていないんだ。</p> <p>災害になると大変ですよ。何百人と入ることになると、どうしても町会が交通整理しないといけなくなりますし、いろいろな問題が出てきますよ。</p> <p>いずれにしても、今は防災意識が高まっていますから、できる地域のグループごとに、何らかの形で消防団に指導してもらおうということが、接点につながるのじゃないかと思います。</p> <p>もちろん、消防団のほうで「できない」と言われれば、あとは、消防署と一緒に話し合いするという形にしないとイケないと思います。</p> <p>我々がいくら提案してもできないので、我々も自分の身は自分で守るということで、啓蒙活動を一生懸命していますが、ご存じのとおり、ここは高齢者が非常に多いので、何をやっても忘れてしまうという環境ですから、なお一層、消防団員の活躍が必要だということです。</p>
<p>委員</p>	<p>委員が今おっしゃったことは、どこの町会、自治会でも直面している課題だと思います。</p> <p>ただ、北区の場合は、人口が急増していて、かなり若い世代の人たちがこの北区に入ってきています。</p> <p>そういう方々に、定着して、住み続けていただいて、地域でも大きな役割を果たしていただけるということが、今とても大事になっていると思っています。</p> <p>私は、今回の台風19号のときに、そういう子育て世代の皆さんが、非常に大きな力をお持ちなんだということを、改めて実感しています。</p> <p>前回、委員のほうからも、町会、自治会の中での世代継承の問題も非常に大事だというお話をいただきましたが、私は、今回の台風19号の避難施設の状況を見ていて、そういう力をお持ちだということが再認識できました。</p> <p>それから、先ほどお話しさせていただいたように、区内の中学校では、“防災学校”ということで、毎年、全部の学校でそういうことを続けていただいています。</p> <p>そこには、消防署の職員の皆さんや消防団の皆さんも関わってくださっていて、直に、そういう皆さんの動きとか、どんなお仕事をされているのかということ、学ばせていただいています。私は、そういうことがとても今大事なんじゃないかと思っています。</p> <p>そういう中で、先ほどの「おやじの会」というのは、もちろん、PTAの中で自主的に生まれた組織で、子供たちを何とか守っていき、育てていきという思いの中から出てきたことで、北区の中でもかなり、この会の歴史は長いと思っています。</p>

	<p>そういうふうには、皆さんが地域の中で子育てをしながら、災害のときにはどうしたらいいかということについても、いろいろと直面した課題の中から、かなりリアルに、いろいろと感じていただいていると思いますから、そういう機会を捉えて、できるだけみんながつながっていく、つながりながら、そういう地域の力を育てていくということが、私は今とても大事になっているんじゃないかと思っていますので、その辺もお願いしたいと思っています。</p>
<p>委 員</p>	<p>おっしゃるとおりで、学校でもそういう形でやっていることは知っていますが、問題は、町会活動の中での活動と学校の活動とは、また別なんですよ。</p> <p>常時住んでいる街の人たちが率先してやってくれないと、なかなか見た目と実際は違ってくるわけです。</p> <p>ですから、なるべくだったら、職場と住居が近いというのが一番いいんですが、そうでない場合が多いので、町会の中に住んでいる人たちは、何としても、災害に対して理解と協力をしてもらおうということですので、それを何とかまとめたいと思って、いろいろやっているわけです。</p> <p>ただ、いろいろ難しいところもあるので、今一生懸命やっていますが、町会が主催で、知り合いを誘ったり、何かのグループがあれば、「一緒にやらないか」ということで話がしやすいんですが、「報酬が出るから」と言っても、来てくれませんよ。</p> <p>だから、その辺は、フレンドシップというのかな、そういうことを出していくのは、町会が一番いいと思いますので、先ほど言ったように、消防団の方々と月に1回とか年に何回とか決めて、情報交換というか、訓練の仕方、初期消火の仕方などを教えてもらうというようなことを、地道にやっていかないと、これはうまくいかないと思います。</p>
<p>委 員</p>	<p>我々が今直面しているのは、入団促進ということもありますが、それと平行して、環境の整備というところで、消防団の活動拠点である、通常、我々は「団小屋」と言っていますが、そこがもう相当古くなっていて、建て替えたいと思っています。</p> <p>ところが、公園法によって、それ以上広げられないとかいう問題などがありますので、男女別のシャワー室やトイレを設置などという状況ではなくて、団員が全員揃うと、すし詰め状態で会議をしなければいけないという状況になっています。</p> <p>しかも、最近は、いろいろな装備・資器材がたくさん配布されますが、そういうものが入らなくなるような状況になってきています。そう</p>

	<p>すると、町会の事務所を借りて、そこに置いておくということにもなっています。</p> <p>ですので、北区が関係するところで、公園法とかについて、その辺をもっと弾力的に運用していただきたいと思っておりますので、よろしくご検討をお願いいたします。</p>
委員	<p>委員が今おっしゃったことは、本当に消防署の皆さん、消防団の皆さんが本当にご苦労されているところだと思います。</p> <p>公園法のことをどうするかということも、一つあると思いますが、もう少し身近に考えると、例えば、うちの地域などでは、都営住宅の建て替えということが、ずっと繰り返し行われています。東京都さんが持っているらっしゃる土地の中に、そういうことをちゃんと位置づけていただいて、「団小屋」を整備していただくとか、もちろん、北区の中にも、そういう公的な土地がありますので、まずは、そういうところから、活用できる場所はないかということ、それぞれの地域で探しながらということで、まずは、東京都とか北区とかの公的なところで、きちんとした対策をしていただくということが、今とても必要になっているのではないかと考えています。</p> <p>これは、私の一つの提案です。</p>
委員	<p>必要だと思ったら、ぜひ共有してくださいよ。そうじゃないと、言うだけに終わってしまいますよ。そういう場所はあると思いますよ。</p>
委員	<p>だから、今提案させていただいたわけです。</p>
委員	<p>自信を持ってやったほうがいいですよ。</p>
委員	<p>今お話がありましたように、そういう活動拠点というのは、延べ面積80平米以上でないと、なかなか車が置けないということに、消防庁のほうではそういうふうに使われています。</p>
委員	<p>委員が今おっしゃったことは、私も本当に、しっかりと受けとめさせていただきたいと思っています。</p> <p>これまでも、北区の中でも、例えば、「保育園が足りない」という問題が起きたときには、区長さんが率先して、「区有地とか公有地で活用できるところはないか」ということで、いろいろと動いて、北区の中では、そういう点では整備を進めてきたという実績、経験があります。</p> <p>ですので、何回かのこの会での協議の中で、緊急な整備が必要なこととして、そういうことが必要だということになってきているわけですから、それは、町会、自治会、消防団、消防署の皆さん、そして、何よりも都議会議員、区議会議員の方々もお見えですから、東京都とも一緒になって、緊急の対策として、「これが必要だ」ということを、今回の答</p>

	<p>申を東京都に出すわけですから、そういう場合の共通の、大きな課題としていくということが、とても大事じゃないかということを、改めて思いましたが、いかがでしょうか。</p>
委 員	<p>確かに、行政はそのように努力して、成果が出ていますので、それは認めます。</p> <p>ただ、逆に、今と似ているのは、町会が狭くて、器材の置き場がなくなったとか、そういうこともあって、どうしようもなくなっているんですよ。</p> <p>そうすると、会議室を半分つぶして、そこに置いたりしていますが、ただそこに置けばいいという問題じゃなくて、これらの活用が鈍ってしまっているわけです。</p> <p>そういう問題もありまして、それを言ったらきりがないので、これ以上言いませんが、現状としては、町会活動もそういうことでの欠陥が出てきているということがあります。</p> <p>そういうこともあって、街をみんなで守っていかなければならないということが、だから鈍ってきているというのが現状です。</p>
事 務 局	<p>先ほど、委員からご指摘いただいた、高齢化とか若い人たちが入らないということで、非常に負担感が大きいということですが、まことにごもつともだと思っております。</p> <p>操法大会とかに対して、「減らしてくれ」とかいうのは、分団のほうからのご意見でしょうか。それとも、委員の個人的なご意見でしょうか。</p>
委 員	<p>これは、私がいろいろ調べた中で、自分の意見として出したもので、分団としての意見ではありません。</p>
事 務 局	<p>それでは、本日の会議は、これもちまして閉会とさせていただきます。長時間にわたりご審議をいただき、本当にありがとうございました。</p>